

# 鳥取県立公文書館報

第32号  
(令和4年度)

鳥取県立公文書館



# 目 次

## 公文書館の概要

1 設置の目的	1
2 機能	1
3 組織	1
4 令和4年度予算	1
5 令和4年度事業計画	2
<b>〔 公 文 書 担 当 〕</b>	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 利用提供	
(4) 普及事業	
(5) その他	
<b>〔 市 町 村 協 働 担 当 〕</b>	3
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
<b>〔 県 史 活 用 担 当 〕</b>	3
(1) ふるさと教育・人材育成支援事業	
(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	
(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	
(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	
(5) 事業検討会議の開催	

## 令和3年度事業概要

<b>〔 公 文 書 担 当 〕</b>	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 寄贈、寄託資料（鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等）	
2 整理・保存の状況	5
(1) 簿冊等紙資料の修復	
(2) 写真資料等の修復及び電子化	
(3) 複製本の作成	
(4) 簿冊の電子化	
3 利用の状況	6
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 行政資料等の利用状況	
(3) 一般の方の来館利用状況	
(4) 県職員の利用状況	
(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況	

<b>4 展示の状況</b>	.....	7
(1) 常設展		
(2) 企画展		
<b>5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進</b>	.....	7
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議		
(2) 企画展（再掲）		
(3) 公文書館と図書館、博物館との連携		
(4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業		
<b>6 普及・啓発</b>	.....	8
(1) 日野町古文書に親しむ会		
(2) 『鳥取県立公文書館研究紀要』第11号の刊行		
(3) 鳥取県立公文書館報第31号の発行		

**[ 県史活用担当 ]**

<b>1 ふるさと教育・人材育成支援事業</b>	.....	8
(1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業		
(2) 高校生のための古文書ワークショップ		
(3) 市町村事業の支援・協力		
<b>2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業</b>	.....	9
(1) 新鳥取県史を学ぶ講座		
(2) 鳥取県史ブックレットの刊行		
(3) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催		
<b>3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業</b>	.....	10
(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集		
(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開		
<b>4 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業</b>	.....	11
(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業		
(2) 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業		
(3) 弥生時代青銅器の調査研究		

# 公文書館の概要

## 1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県等の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、調査研究を行うため設置し、県、市町村及び県民等が相互に連携し、協力して行う歴史資料として重要な史料の保存及び利用に関する中心的役割を果たすものとする。

## 2 機能

### (1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供する。

### (2) 行政資料などの配架

行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に配架する。

### (3) 情報の提供

県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供する。

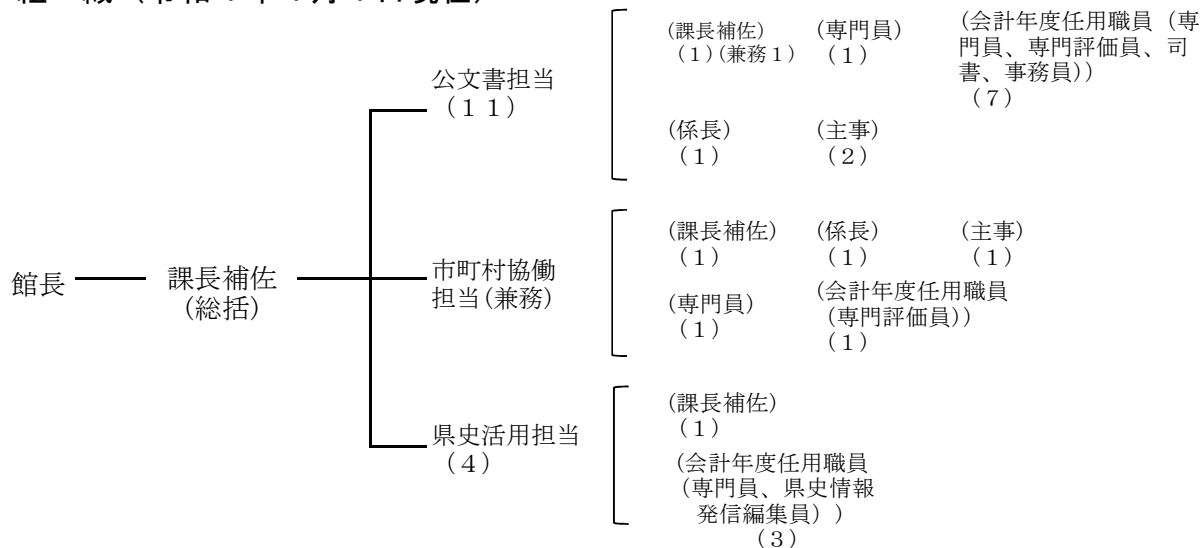
### (4) 市町村・県民等との連携・協力

市町村・県民等の保有する歴史資料として重要な資料の保存・利用に関する専門的な情報の提供、技術的な助言等を行う。

### (5) 県史編さん情報の活用推進

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した資料の公開や活用を推進するとともに、ブックレットの刊行、講演会の開催等の普及事業を実施する。

## 3 組織（令和4年4月1日現在）



## 4 令和4年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
公文書館管理運営費	9,141
公文書収集・保存・活用事業	1,965
公文書館センター機能強化・充実事業	2,512
ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業	4,360
合計	17,978

## 5 令和4年度事業計画

### 〔公文書担当〕

#### (1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後速やかに当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査や公文書管理条例制定前引継文書の再評価を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図る。

#### (2) 整理・保存

- ア 公文書綴り(簿冊)等紙資料の修復  
劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料を、専門事業者に委託して脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復する。軽易な修復は職員が行う。
- イ 写真、映画フィルムの電子化  
原板(ネガ・ポジ、フィルム等)は専用フォルダ等に収納する。電子化されたデータを整理・目録化するとともに一部をとってデジタルコレクションに掲載する。
- ウ 複製本の作成  
簡易製本されている資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理  
IPM(総合的有害生物管理)を利用して管理すると共に、温湿度の管理を徹底する。  
〔※IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。〕
- オ 所蔵資料を保存し利活用するための基盤整備  
条例施行前引継ぎ文書の評価促進。利用制限事前審査。とっとりデジタルコレクションによるデジタル化資料の公開。

#### (3) 利用提供

収集・整理した保存文書を、鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、利用提供する。

#### (4) 普及事業

- ア 常設展  
展示コーナー(館内及び共通通路)において、県政に関わる資料を展示する。  
共通通路については、話題性のある資料をもとに、年2回程度の入替を行う。
- イ 企画展  
「田賀久治の見た鳥取大火一甦る70年前の光景一」  
(会期：令和4年4月12日(火)～4月27日(水))  
「鳥取県ができるまで」  
(会期：令和4年9月6日(火)～9月26日(月) 予定)  
「沖兄弟の写真一記録と芸術の軌跡(仮称)」  
(会期：令和4年11月1日(火)～11月30日(水) 予定)

#### (5) その他

鳥取県公文書等の管理に関する条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第32号を作成し、当館ホームページで公開する。

## 〔市町村協働担当〕

### (1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

ア 現用公文書及び歴史公文書等の適切な管理・保存活用のための取組

(ア) 職員の資質向上のための研修

a 歴史公文書等の評価選別研修会

b 資料保存・修復研修会

(イ) 部会による個別課題の検討

(ウ) 市町村訪問による歴史公文書等の評価選別・保存活用推進

イ 災害時等の資料の滅失・破損防止のための取組

(ア) 災害時等の連携・協力

(イ) 災害アーカイブズ事業

ウ 普及啓発のための取組

(ア) 企画展「沖兄弟の写真一記録と芸術の軌跡（仮称）」（再掲）

（会期：令和4年11月1日（火）～11月30日（水）予定）

## 〔県史活用担当〕

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料を有効に活用するため、「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業」として、関係機関と連携しながら、以下の事業を実施する。

### (1) ふるさと教育・人材育成支援事業

ア 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

イ 学生を対象とした体験型学習の実施やふるさと歴史学習の支援

高校生や大学生を対象とした古文書ワークショップなどを開催

ウ 市町村事業の支援・協力

### (2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

ア 鳥取県史ブックレットの刊行

「鳥取県の鉄道建設〈明治時代〉（仮）」を刊行予定

イ 新鳥取県史を学ぶ講座

民俗講座「倉吉の鋳物師（仮）」

歴史講座「考古学研究による新しい歴史像（仮）」

ウ 「占領期の鳥取を学ぶ会」の開催

鳥取市歴史博物館と共催で「GHQ軍政レポート」を県民参画で解説

### (3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

ア 新鳥取県史収集資料の整理と目録・写真等の公開

イ 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

### (4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

ア 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

県政・財界等の関係者や高度経済成長期等に関する県民からの聞き取り

イ 鳥取県災害アーカイブズ事業

歴史資料や文献・新聞から災害情報を抽出し、データベース化して公開

ウ 鳥取県における弥生時代青銅器の調査研究

### (5) 事業検討会議の開催

事業内容等について専門的見地から意見を聴取するため有識者等による会議を開催

## 令和3年度事業概要

### 〔公文書担当〕

#### 1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(令和4年3月31日現在)

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの  
令和3年度は1,307冊の引継ぎを行い、合計54,748冊となった。(単位:冊)

区 分		保 存 区 分	令和2年度まで	令和3年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	30,028	485	30,513
		10年以下(旧有期限)	14,446 (84)	527 (8)	14,973 (92)
	地方機関	30年(旧永年)	1,663	59	1,722
		10年以下(旧有期限)	1,096 (29)	31	1,127 (29)
小 計		30年(旧永年)	31,691 (0)	544 (0)	32,235 (0)
		10年以下(旧有期限)	15,542 (113)	558 (8)	16,100 (121)
知事部局以外	教育委員会	30年(旧永年)	2,188	48	2,236
		10年以下(旧有期限)	1,145 (14)	73 (1)	1,218 (15)
	県立学校	—	581 (3)	48 (1)	629 (4)
	公安委員会	—	11	1	12
	警察本部	30年(旧永年)	132	0	132
		10年以下(旧有期限)	15	2	17
	選挙管理委員会	30年(旧永年)	0	0	0
		10年以下(旧有期限)	2	2	4
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	17	1	18
	監査委員	30年(旧永年)	30	2	32
		10年以下(旧有期限)	536	26	562
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
収用委員会	—	2	0	2	
病院事業管理者	—	57 (1)	2 (0)	59 (1)	
住宅供給公社	—	1	0	1	
土地開発公社	—	9	0	9	
小 計		—	5,426 (18)	205 (2)	5,631 (20)
県議会		30年(旧永年)	782	0	782
合 計			53,441 (131)	1,307 (10)	54,748 (141)

- ① 「鳥取県公文書等の管理に関する条例」(平成24年4月1日施行)に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(平成24年4月1日廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成7年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ その他の機関については、教育委員会本庁(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の30年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の文書を平成16年度に引き継いだものである。
- ⑤ 年度末時点で引継ぎが完了していない簿冊は、当該年度の引継数には計上せず、翌年度に前年度までの収蔵数に加えている。
- ⑥ 令和元年度館報から電子簿冊数をかっこ(内数)で計上した。
- ⑦ 所蔵資料の再選別により廃棄又は移管したものは、前年度までの所蔵数に反映させた。



(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの

当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編さん収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		令和2年度まで	令和3年度	計
欠 落 公 文 書 の 充 補	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	59,381	0	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	11,592	0	11,592
	計	735,652	0	735,652
劣化公文書		85,355	0	85,355
県史編さん収集資料		108,493	0	108,493
合 計		929,500	0	929,500

(3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分	令和2年度まで	令和3年度の増減	計
行政資料	36,566	319	36,885
統計資料	27,234	132	27,366
合 計	63,800	451	64,251

※ 内規による廃棄を実施しているため数が減少する場合がある

(4) 寄贈、寄託資料（鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等）

県史編さん関係原文書	362点
寄 贈 資 料	10,323点

※ 県史編さん関係原文書のうち、17点を平成29年度に県立博物館に移管

※ 寄贈資料のうち、288点を令和3年度に県立博物館に移管

## 2 整理・保存の状況

(1) 簿冊（公文書綴）等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や書籍、寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉き嵌め（リーフキャスト）等で修復した。（事業者委託分）

区 分	令和2年度まで	令和3年度	計
簿 冊	28	0	28冊
図 面 類	610	4	614舗
上記以外の紙資料	48	5	53点

(2) 写真資料等の修復及び電子化

劣化・破損の著しい写真アルバムの修復とともにマイクロフィルム、その他の写真フィルムの電子化を実施した。

区 分	令和2年度まで	令和3年度	計
写真アルバムの修復	25	0	25冊
マイクロフィルムの電子化	212,177	30,424	242,601コマ
写真フィルムの電子化	65,567	1,267	66,834コマ
映画フィルムの電子化	6	1	7巻

(3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便性を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化する。

区 分	令和2年度まで	令和3年度	計
複製本作成	1,785	0	1,785冊

(4) 簿冊の電子化

センター機能強化・充実事業として、簿冊の電子化を行った。

区 分	令和2年度まで	令和3年度	計
簿冊の電子化	13,723	1,180	14,903コマ

### 3 利用の状況

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況

区 分	請求者数 (人)	請求件数 (件・枚)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書	49	145	131	14	0	0
寄贈寄託資料	28	125	124	2	0	0
写真・映像等	5	1,339	1,338	0	0	0
合 計	82	1,609	1,593	16	0	0

上記のほかに鳥取県公文書等の管理に関する条例第22条による鳥取県職員の利用請求が185人(411件)あり。

(2) 行政資料等の利用状況

区 分	利用者数(人)	件数(件)
一般の利用	44	159
県職員	14	38

(3) 一般の方の来館利用状況

月別	来館者数 人	内 訳				
		開架資料 閲覧 展示閲覧 人	相談・案内			写しの交付 枚
			人	人	冊	
4月	1,063	1,001	65	7	38	103
5月	298	269	31	7	17	31
6月	279	253	28	6	436	13
7月	285	243	44	10	22	44
8月	292	259	35	5	22	37
9月	470	429	42	11	135	29
10月	305	273	35	4	15	240
11月	263	225	41	5	25	23
12月	369	333	37	8	40	62
1月	223	201	23	4	33	20
2月	165	136	31	5	10	8
3月	244	220	24	2	17	0
令和3年度計	4,256	3,842	436	74	810	610

(4) 県職員の利用状況

年 度	利用者数(人)	資料閲覧・貸出(冊)
令和3年度	253	875

(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況

年 度	閲覧回数(回)
令和3年度	318,458

## 4 展示の状況

### (1) 常設展

鳥取県の誕生からの明治期の資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和30年代初頭のカラー写真等を展示した。

### (2) 企画展

#### ア 企画展

テーマ マ：鳥取大火の初公開写真

内容 平成31年4月に寄贈された大火関係写真を中心に展示。

会期 令和2年4月13日(火)～4月28日(水)

入館者 903人

#### イ 企画展

テーマ マ：鳥取県ができるまで

内容 明治4年の鳥取県の誕生から島根県への併合、再置、再置後の県政のあゆみの他、その後の地域再編の動きについて紹介し、県民の日の趣旨である「県民がふるさとについての理解と関心を深める」ことへの一助とした。

会期 令和3年9月3日(金)～9月21日(火)

入館者 369人

#### ウ 企画展

テーマ マ：昭和の大合併—39市町村への再編—

内容 昭和初年から大合併が完了した昭和43年までの地域再編の経緯について、県及び市町村が所蔵する資料を用いて紹介した。

会場・会期 公文書館 令和3年12月9日(木)～令和4年1月11日(火)

米子市立山陰歴史館 令和4年1月15日(土)～2月13日(日)

倉吉博物館 令和4年2月17日(木)～3月13日(日)

入館者 935人(3会場)

## 5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

### (1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

ア 第1回共同会議(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

イ 第1回研修会・部会(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

ウ 第2回部会(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

エ 資料保存・修復研修会(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

オ 公文書館職員による市町村訪問(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

### (2) 企画展(再掲)

テーマ マ：昭和の大合併—39市町村への再編—

内容 昭和初年から大合併が完了した昭和43年までの地域再編の経緯について、県及び市町村が所蔵する資料を用いて紹介した。

会期 令和3年12月9日(木)～令和4年3月13日(日)

会場・会期 公文書館 令和3年12月9日(木)～令和4年1月11日(火)

米子市立山陰歴史館 令和4年1月15日(土)～2月13日(日)

倉吉博物館 令和4年2月17日(木)～3月13日(日)

入館者 935人(3会場)

### (3) 公文書館と図書館、博物館との連携

- ・3館及び理蔵文化財センターで令和3年3月に公開したデジタルアーカイブ(とっとりデジタルコレクション)に、新たにデジタル化した資料を追加した。
- ・公文書館と文化財課、図書館、博物館の担当職員による「災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」に係る連絡会議をで実施した。
- ・館長及び担当職員による「公文書館・図書館・博物館連携会議」を実施した。

- (4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業
- ア 災害時文書搬出必要資機材の備蓄（継続）  
中性紙箱、真空圧縮袋、無水エタノール、運搬用折りたたみコンテナ等の管理
  - イ 地域歴史資料所在調査（休止中）  
鳥取県内に残る民間の古文書等歴史資料について、市町村等と協力しながら、所在情報の収集を行い、重要文書や未調査の文書について調査員による現地調査を行う。

## 6 普及・啓発

- (1) 日野町古文書に親しむ会  
期 日：原則毎月第4日曜日（午前10時30分～正午、コロナ禍のため6回のみ開催）  
内 容：「福田久道家譜」を読む  
講 師：伊藤 康  
受講生：8～10名／回  
その他：午後から資料整理ボランティア
- (2) 『鳥取県立公文書館研究紀要』第11号の刊行  
歴史公文書等の保存・活用等に関する論考、米子医専から鳥取大学医学部への変遷の歴史、明治期に鳥取市で活動した写真師、旧藩主池田家が経営した池田農場の歴史等あわせて6本の原稿を収載した。
- (3) 鳥取県立公文書館報第31号の発行  
公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第31号を作成し、令和3年5月にホームページで公開した。

## 〔県史活用担当〕

### ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業の概要

新鳥取県史編さん事業（平成18～31年度）の成果や収集した歴史資料の活用を図るため、教育委員会や関係機関と連携しながら、学習教材となりうる資料の提供や「ふるさと教育」の支援等を行うとともに、歴史・民俗を活用した地域づくりや文化財指定等に係る調査協力等の市町村事業の支援を行い、郷土の歴史文化を担う人材の育成や魅力ある地域づくりにつなげることを目的に、令和2年度から以下の4つを柱とする事業を実施。

## 1 ふるさと教育・人材育成支援事業

### (1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

#### ア 事業概要

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料の学校教育での活用を図るため、教科書の内容に即した郷土資料データの提供や、授業で活用できる教材づくり等を進め、ウェブを使って利用しやすい形で提供することによって、生徒や教員が郷土の歴史を手軽に学び、理解を深める機会を創出する。

#### イ 新鳥取県史を活用した学習教材開発検討会議の開催

期 日：令和3年6月26日（土）、9月18日（土）

場 所：公文書館 会議室

内 容：教材の公開方法、教材の内容・仕様、今後の取り組みに係る協議

#### ウ 検討会議メンバー

氏 名	所属等	担当等
石田 敏紀（座長）	県立倉吉西高等学校教諭	古代・現代
前田 孝行	県立鳥取西高等学校教諭	近代
花原 慧史	鳥取市立湖東中学校教諭	近世
小山 富見男	元鳥取敬愛高等学校長	近代・現代
横山 順一	県教育センターGIGAスクール推進課	アドバイザー
奥田 信行	県教育委員会高等学校課指導主事	アドバイザー
岡村 吉彦	県立公文書館課長補佐	事務局、中世

## エ 公開状況

学習教材56点を作成し、公文書館ホームページで公開した(11月)。

### (2) 高校生のための古文書ワークショップ

概要：鳥取県の歴史・民俗の調査研究を担う若手の人材育成を図るため、高校生を対象に、古文書の原本に触れたり、くずし字を読み解いて内容をまとめるワークショップを開催した(鳥取県立博物館と共催)

期 日：令和3年7月18日(日)

会 場：鳥取県立博物館

参加者：高校生10名

指導者：(公文書館)岡村吉彦課長補佐  
(博物館)来見田博基主任学芸員、山本隆一朗学芸員

内 容：①古文書に触れてみよう！  
中世・近世の古文書の原本に触れ、その取り扱い方を学ぶ。  
②古文書を解説してみよう！  
グループに分かれて古文書(くずし字)を解説する。  
③展示用キャプションをつくろう  
グループごとに解説した資料の展示用キャプションを作成して発表

### (3) 市町村事業の支援・協力

ア 倉吉市生涯学習講座「答えのない時代を生きる私たち」への出講

期 日：令和3年10月17日(日)

場 所：倉吉交流プラザ

講 師：藤澤匡樹(公文書館 専門員)

演 題：史料から読み解く感染症ースペイン風邪を中心にー

## 2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

### (1) 新鳥取県史を学ぶ講座

ア 講座「倉吉の民具から暮らしと技術を知るー『新鳥取県史 民俗・民具編』を読むー」

第1回：「倉吉千歯」

期 日：令和3年6月20日(日)

会 場：倉吉市立図書館第1研修室・視聴覚ホール

講 師：関本明子(倉吉博物館主任学芸員)  
樫村賢二(県地域づくり推進部文化財局文化財課文化財保護担当係長)

参加者：35名

第2回：「民具を調べる」・ワークショップ「倉吉絁及び倉吉千歯の調査実習」

期 日：令和3年10月23日(土)

会 場：(講座)倉吉市立図書館第1研修室・視聴覚ホール  
(ワークショップ)視聴覚ホール

講 師：(講座)小林光一郎(鳥取県文化財審議会委員/横浜市歴史博物館学芸員)  
(ワークショップ)関本明子(倉吉博物館主任学芸員)

樫村賢二(県地域づくり推進部文化財局文化財課文化財保護担当係長)

参加者：24名

※8月22日(日)の講座がコロナ禍で開催できなかったため、第2回で講座・ワークショップを同日開催した。

イ 歴史講座「西国の戦国時代と因幡・伯耆の人々」

第1回：「山陰地域の戦国時代と東アジア世界」

期 日：令和3年10月10日（日）

会 場：鳥取県立博物館 講堂

講 師：長谷川博史（島根大学教授）

参加者：60名

第2回：「中国地域の戦国争乱と『境目』地域の民衆」

期 日：令和3年11月3日（水・祝）

会 場：鳥取県立博物館 講堂

講 師：山本浩樹（龍谷大学教授）

参加者：55名

第3回：「因幡・伯耆の戦国文書と史料編纂所の活動」

期 日：令和3年12月5日（日）

会 場：鳥取県立博物館 講堂

講 師：村井祐樹（東京大学史料編纂所准教授）

参加者：55名

※令和3年9月26日（日）に開催を予定していた「戦国大名毛利氏の城郭運用と検使」（講師：馬部隆弘〈大阪大谷大学准教授〉）は、コロナ禍により日程を令和4年3月20日（日）に変更したが、開催できなかった。

(2) 鳥取県史ブックレットの刊行

書籍名：鳥取県史ブックレット23「因幡・伯耆の古墳時代」

著 者：高田健一（鳥取大学地域学部教授）

体裁等：A5判、105頁、頒布価格500円

頒布窓口

県立公文書館、県庁県民参画協働課、八頭県土整備事務所建設総務課、中・西部総合事務所県民福祉局、日野振興センター日野振興局、県内各書店、県立博物館、鳥取市歴史博物館、鳥取市因幡万葉歴史館

県外の方や窓口での購入が困難な方が書籍を希望する場合は、郵送による販売も可能（クレジットカード又は銀行振込による支払い）

(3) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催

英文の鳥取軍政部活動報告を解説し、占領期の鳥取について学ぶ県民参加の連続講座を鳥取市歴史博物館と共同で開催した。

期 日：6月19日（土）、7月17日（土）、9月18日（土）、  
10月16日（土）、11月20日（土）、12月18日（土）

※5月から毎月1回の月例会（3月は研究報告会）を実施する予定であったが、コロナ禍で開催できなかった月がある。

会 場：鳥取市歴史博物館

助言者：澤田晶子（翻訳家）

参加者：毎回10～15人

### 3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

資料群	地域	概要	点数
西木下家文書	日南町	近世～近代の鉄山関係資料	約1,700

(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開

新鳥取県史編さん事業等で調査・撮影した歴史・民俗資料について、公開用の目録作成、写真データの整理等を行い、郷土学習や歴史研究等の活用に供するため、資料データや写真画像・図面等を「とっとりデジタルコレクション」で公開した。

○「とっとりデジタルコレクション」でこれまでに公開した資料数

分類	資料群件数	資料点数	概要等
古文書資料	73	1,041	県内外の個人蔵の中世文書
古記録資料	36	51	県内の棟札・金石文等
民俗資料	1	58	北栄町郷土資料館所蔵民具資料
考古資料	672	87	県内主要遺跡データ・実測図
旧県史刊行物	25	25	『鳥取藩史』等のPDF版
新県史刊行物	23	23	『新鳥取県史』の情報
	830	1,285	

4 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業

ア 事業概要

過去の歴史資料や文献資料から、これまでに鳥取県内で発生したさまざまな災害事例を抽出し、その発生時期・地域・災害種類等をデータベースにまとめて公開する。

イ 災害関連情報の収集

新旧鳥取県史資料編からの抽出は、旧鳥取県史（近世資料編）・新鳥取県史（軍事・兵事編）を除き終了、地元新聞・市町村広報誌からの抽出は継続中

ウ 鳥取県災害アーカイブズ検討会議の開催

期 日：（第1回）令和3年8月26日（木）、（第2回）令和4年3月（書面開催）

会 場：（第1回）オンライン開催（県立公文書館2階会議室）、（第2回）書面開催

検討会議メンバー（所属・役職は、開催当時のもの）

氏名	所属・役職等	専門分野等
榎原 雅治（座長）	東京大学史料編纂所 教授	日本史学（中世）
西山 昭仁	（第1回）奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 客員研究員	日本史学（近世）
	（第2回）京都大学防災研究所 地震災害研究部門 特任助教	
村田 泰輔	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 主任研究員	災害考古学、地質学
香川 敬生	鳥取大学工学部 教授	地震工学
山本 伸二	鳥取地方気象台 次長	災害・気象情報
小山 富見男	鳥取地域史研究会 会長	日本史学（近現代）
来見田 博基	鳥取県立博物館 主任学芸員	日本史学（近世）
佐藤 紘一	鳥取県立図書館 学芸員	日本史学（近世）

エ 鳥取県災害アーカイブズ実務者会議の開催

期 日：令和4年1月19日（水）

会 場：オンライン開催（公文書館2階会議室）

出席者（所属・役職は、開催当時のもの）

氏名	所属・役職等
香川 敬生	鳥取大学工学部 教授
来見田 博基	鳥取県立博物館 主任学芸員
西山 昭仁	京都大学防災研究所 地震災害研究部門 特任助教
村田 泰輔	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 主任研究員

内 容：鳥取県災害アーカイブズデータベースの構築に向けて、入力する災害情報や公開画面の構成等に関する協議。

オ 鳥取県災害アーカイブズシンポジウム

期 日：令和4年3月5日（土）

会 場：オンライン開催（公文書館2階会議室）

基調講演

演 題：近世における因幡・伯耆の地震・台風・疾病

講 師：矢田 俊文（新潟大学名誉教授）

関連報告

（会期：令和4年11月1日（火）～11月30日（水）予定）

報告者：藤澤 匡樹（鳥取県立公文書館専門員）

参加者：40名

(2) 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

ア 事業概要

戦後の本県の政治・経済・社会その他諸分野で活躍してきた人々の証言を記録化し、貴重な歴史資料として後世に伝える。収集した証言記録は、将来的には現代通史編の編さんにも活用する。

イ 検討会議の開催

期 日：令和3年11月13日（土）・12月11日（土）

場 所：公文書館会議室

内 容：調査方針の検討、実施計画の策定、テーマと対象者の選定

検討会議メンバー（調査委員）

氏名	所属・役職等	備考
石田 敏紀	県立倉吉西高等学校教諭	元現代部会委員
小山 富見男	鳥取地域史研究会会長	元現代部会長
西村 芳将	県文化財局文化財課課長補佐	元県史編さん室現代担当職員

ウ 個人の聞き取り

コロナ禍のため実施できず。

(3) 弥生時代青銅器の調査研究

ア 事業概要

鳥取県に関する弥生時代の青銅器（銅鐸・銅剣等）の詳細な図面を鳥取県埋蔵文化財センターの兼務職員を中心に作成。成果は報告書の形で県民へ公開する。

イ 報告書作成検討会議

期 日：令和3年6月14日（月）・9月16日（木）

場 所：公文書館会議室

出席者：高田健一（鳥取大学地域学部教授、元県史編さん委員会考古部会長）

中原 斉（米子市文化財専門官、前県地域づくり推進部文化財局長）

県埋蔵文化財センター職員、公文書館職員

内 容：報告書の構成・内容・執筆分担・編纂日程に関する協議

ウ 図面作成

鳥取県立博物館所蔵の銅鐸3点（越路・伝米子・伝河内銅鐸）の3Dオルソ図を作成した。



## 利用案内

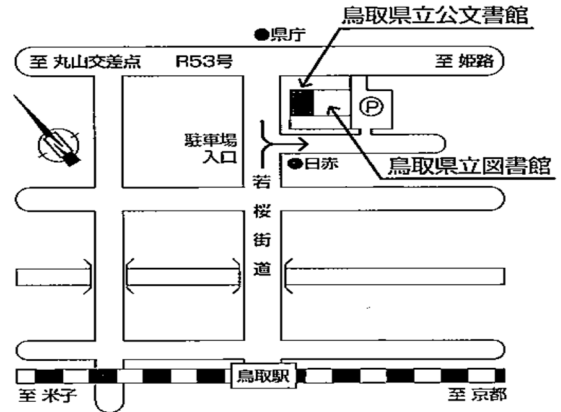
### 開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

### 休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

## 案内図



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ  
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより  
湖山・鳥大線、賀露線など  
「県庁日赤前」下車徒歩1分

## 鳥取県立公文書館報

第32号—令和4年度—

令和4年6月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地

電話 (0857)26-8160

ファクシミリ (0857)22-3977

電子メール kobunsho@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>